



答 申 第 2 号
令和 4 年 1 月 4 日

那覇市長 城間 幹子 様

地方独立行政法人那覇市立病院評価委員会
委員長 與儀 實津夫



地方独立行政法人那覇市立病院令和 2 年度業務実績評価について（答申）

令和 3 年 8 月 17 日付け諮問第 2 号について、下記のとおり答申いたします。

記

別紙「地方独立行政法人那覇市立病院 令和 2 年事業年度 業務実績評価
に関する意見」のとおり答申します。

地方独立行政法人那覇市立病院

令和2年事業年度 業務実績評価に関する意見

令和4年1月

地方独立行政法人那覇市立病院評価委員会

本評価委員会において、那覇市長より令和3年8月17日付け諮問第2号で諮問のあった「地方独立行政法人那覇市立病院令和2年度実績評価に関する意見について」について審議を行った。その結果は以下のとおりである。

1. 全体的な意見

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、診療制限を行いながらも、365日24時間の救急医療体制を維持しており、救急車の受入率は高水準を保ち、公立病院としての役割を果たし、地域医療に貢献したことを評価する。

コロナ対応では、PCR検査の実施、患者の受診調整・入院調整、市内クラスター発生時の連携等、保健所との緊密な連携を図りつつ、県コロナ対策本部の派遣要請に積極的に対応し、活動を行ったこと、また、紹介率・逆紹介率はともに前年度実績及び目標を上回るなど、コロナ禍にあっても地域医療機関との連携推進・強化を図ったことを高く評価する。

さらには、早期に「那覇市立病院コロナ対策本部」を立ち上げ、多職種が連携して取り組んだこと、コロナ対応を行いながらも、職員のメンタルサポートをはじめ、ホテル宿泊や看護師の業務過多の負担軽減等、働きやすい職場環境づくりへ努めたことを評価する。

財務内容の改善についても、診療報酬の請求は、全国平均より低い査定率を維持しており、健全な診療報酬請求を実施、継続していることを評価する。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で「医業収支比率」は目標より減少し、「病床稼働率」が減少するなど厳しい面もあったが、「経常収支比率」の100%超を継続したことを評価したい。

今後も、コロナ感染状況を踏まえて体制を整え、また、新病院建設を着実に推進し、市民に提供するサービスその他の業務の質の向上、業務運営の改善及び効率化、財務内容の改善に引き続き取り組むことで、那覇市立病院としての使命を果たしていただきたい。

2. 項目別の意見（別添：令和2年事業年度業務実績評価書参照）

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

（注：（ ）は評価項目の番号を表す。以下同じ。）

(1) 救急医療体制の維持・充実【ウエイト2 評価Ⅱ】

（意見）

コロナの影響で診療制限を行いながらも、365日24時間の救急医療体制を維持し、また、救急車の受入率は目標値だけでなく、前年度実績を上回ったことについて、公立病院としての役割を果たしていることを評価する。

(2) 充実した小児・周産期医療の確保【ウエイト2 評価Ⅱ】

（意見）

コロナの影響により小児の患者数は減少したが、地域医療機関と連携し、小児・周産期医療の提供を維持していることを評価する。

(3) 平時からの備えと発災後対応【ウエイト2 評価Ⅱ】

（意見）

新病院の感染症等対策について、基本設計の見直し等を行い、適切に対応したことを評価する。研修等については、実施方法を工夫されたい。

(5) 医療支援への取組【ウエイト2 評価Ⅴ】

（意見）

県コロナ対策本部の派遣要請に積極的に対応し、活動を行ったことを、大いに評価する。

(6) 保健所との連携【ウエイト2 評価Ⅴ】

（意見）

コロナ対応として、PCR検査の実施、患者の受診調整・入院調整、市内クラスター発生時の連携等、保健所との緊密な連携を高く評価する。

(8) 地域包括ケアシステムの推進【ウエイト2 評価Ⅱ】

(意見)

「患者サポートセンター」の組織再編成による適切な入退院調整を進めたこと、並びに在宅医の採用による「在宅医療外来」を開設したことを評価したい。地域包括ケアシステムの推進へのさらなる寄与を期待する。

(9) 市民への情報の提供・発信【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

病院情報がホームページ上で適切に公表されていることを良としたい。また、市民公開講座については、参加型とオンラインのハイブリッドを併用するなど工夫されたい。

(10) 専門性を持った医療人の確保【ウエイト2 評価Ⅱ】

(意見)

新病院建設を見据え、計画的な人材確保に努められたい。

(12) がん医療の充実【ウエイト2 評価Ⅲ】

(意見)

コロナの影響の中でも、関連指標はほぼ前年度並みを維持しており、「地域がん診療拠点病院」の役割を果たしていると評価する。研修会や講演会は創意工夫により、開催に努められたい。

(13) 地域医療機関との連携推進・強化【ウエイト2 評価Ⅴ】

(意見)

紹介率及び逆紹介率ともに、前年度実績及び目標を上回り、コロナ禍にあっても地域医療機関との連携推進・強化を図ったことを高く評価する。

(14) 人材の確保及び育成【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

コロナ禍の中、職員の研修・資格取得は困難ではあるだろうが、支援方法の工夫により人材の確保及び育成に努められたい。

(15) 患者中心の医療【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

セカンドオピニオン件数の増加を評価するが、セカンドオピニオン

以外の関連指標の設定について検討されたい。

(16) 医療安全対策の徹底【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

専従 ICN の活動や他の医療機関や那覇市保健所との間で LINE を活用したコロナ情報交換等の感染拡大防止対策の取組を評価する。

(17) 医療の標準化と最適な医療の提供【ウエイト1 評価Ⅴ】

(意見)

クリニカルパス適用患者数の実績が目標を大幅に上回ったことを高く評価する。

(18) 法令の遵守及び行動規範に沿った業務運営【ウエイト1 評価Ⅱ】

(意見)

コロナ禍の中での限られた業務運営はやむを得ないが、研修会については、創意工夫により開催に努められたい。

(19) 快適性及び利便性の向上【ウエイト1 評価Ⅳ】

(意見)

コロナ入院患者のための Wi-Fi 設置及びタブレット面会の導入を評価する。患者や来院者が安心して来院できるよう、これらの取組やその環境整備について、ホームページや院内掲示での周知を検討いただきたい。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

(23) チーム医療の推進【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

チーム医療の推進にあたっては「電子カルテ」を有効活用するとともに、「人材確保」等の計画的な取組により、経営にも患者にもプラスとなるよう、一層の努力と継続を期待する。

(24) 多種職連携の推進【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

早期に「那覇市立病院コロナ対策本部」を立ち上げ、コロナ対応において多職種が連携して取り組んだことを評価する。

(25) 働きやすい職場環境づくり【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

コロナ対策を行いながらも、職員のメンタルサポートをはじめ、ホテル宿泊契約や、看護師の業務過多の負担軽減等、多種職が連携し、働きやすい職場環境づくりへ努めたことを評価する。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

(26) 経営機能の強化【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

査定率がやや悪化したが、低率を維持しており、健全な診療報酬請求を実施、継続していることを評価する。

(27) 収益的収支の向上【ウエイト1 評価Ⅱ】

(意見)

コロナ対応により「病床稼働率」の減少はやむを得ず、今後も感染状況を踏まえて体制を整えられたい。

(29) 経営の効率化【ウエイト2 評価Ⅲ】

(意見)

コロナの影響で「医業収支比率」は目標より減少したが、「経常収支比率」の100%超は継続していることを評価する。

(30) 病院事業運営費負担金に関する事項【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

病院事業運営費負担金は市立病院が公的使命を果たしていくために重要な財源であることから、那覇市との意見交換及び調整をしっかりと行っていただきたい。

第4 その他業務運営に関する重要事項

(32) 市立病院建替えに関する事項【ウエイト1 評価Ⅲ】

(意見)

新病院の建設は、コロナ禍に加え、診療を継続しながら実施することから、様々な困難が生じると思うが、患者の療養環境の確保に努めるとともに、医療者にとって働きがいのある「新・那覇市立病院」の

完成を期待する。

(33) 外国人患者に対応できる医療の提供【ウエイト1 評価Ⅳ】

(意見)

「外国人医療コーディネーター」を専従で配置し、外国人患者に対応できる医療の提供に継続して取り組んでいることを評価する。